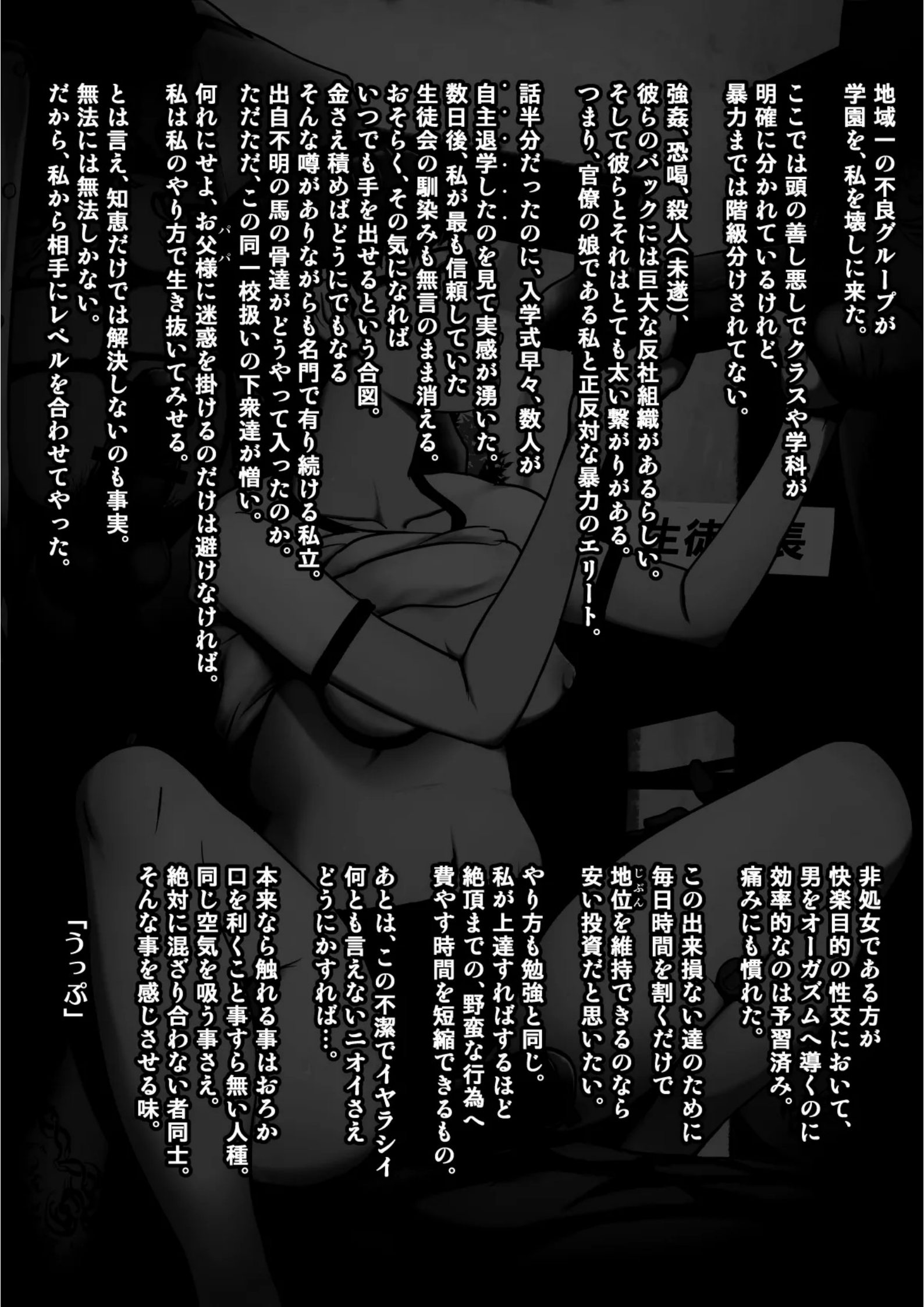
生徒



地域一の不良グループが
学園を、私を壊しに来た。

ここでは頭の善し悪しでクラスや学科が
明確に分かれているけれど、
暴力までは階級分けされてない。

強姦、恐喝、殺人(未遂)、
彼らのバックには巨大な反社組織があるらしい。
そして彼らとそれはとても太い繋がりがある。
つまり、官僚の娘である私と正反対な暴力のエリート。

話半分だったのに、入学式早々、数人が
自主退学したのを見て実感が湧いた。
数日後、私が最も信頼していた
生徒会の馴染みも無言のまま消える。
おそらく、その気になれば
いつでも手を出せるという合図。
金さえ積めばどうにでもなる
そんな噂がありながらも名門で有り続ける私立。
出自不明の馬の骨達がどうやって入ったのか。
ただただ、この同一校扱いの下衆達が憎い。
何れにせよ、お父様(パパ)に迷惑を掛けるのだけは避けなければ。
私は私のやり方で生き抜いてみせる。

とは言え、知恵だけでは解決しないのも事実。
無法には無法しかない。
だから、私から相手にレベルを合わせてやった。

非処女である方が
快楽目的の性交において、
男をオーガズムへ導くのに
効率的なのは予習済み。
痛みにも慣れた。

この出来損ない達のために
毎日時間を割くだけで
地位(じぶん)を維持できるのなら
安い投資だと思いたい。

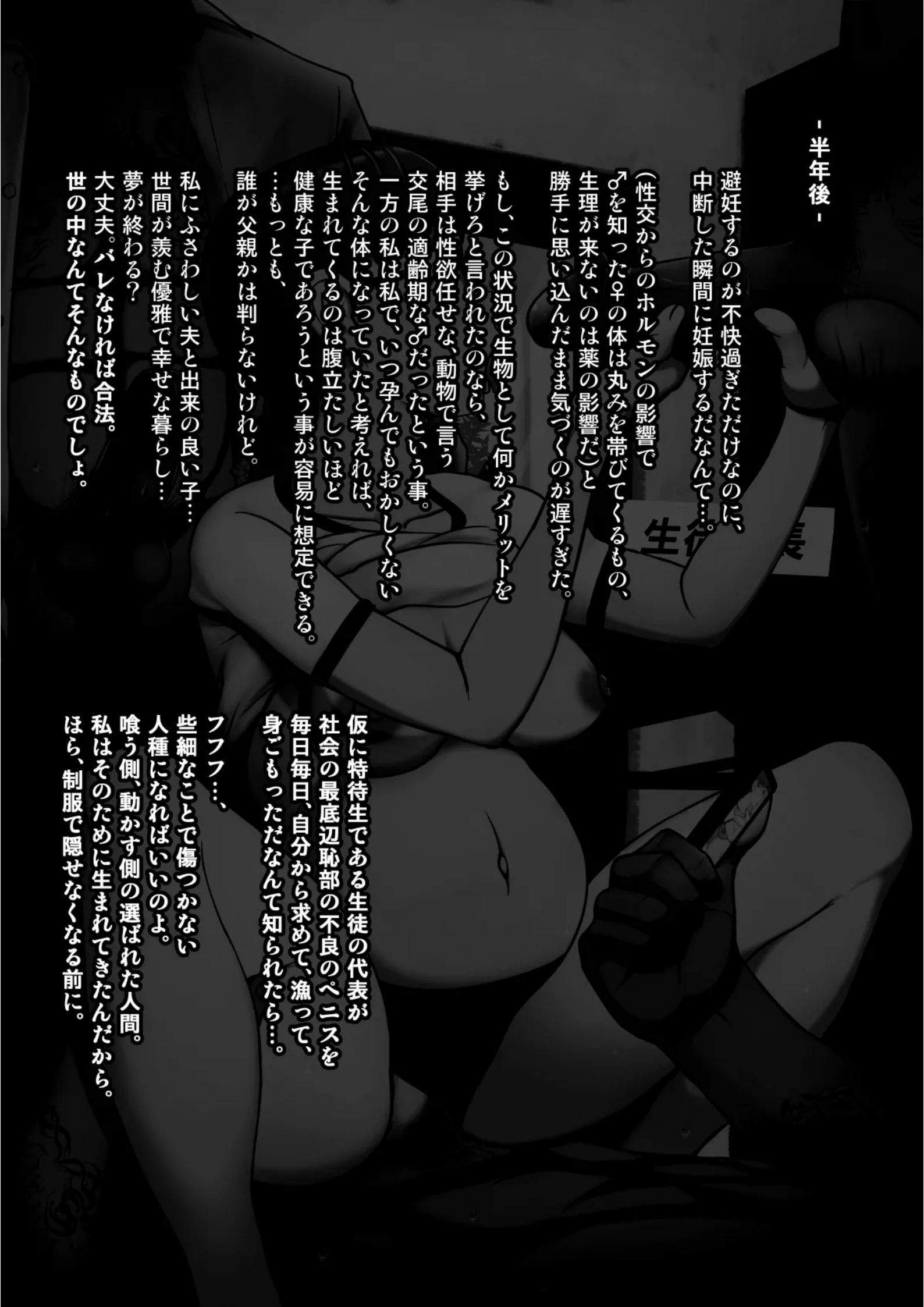
やり方も勉強と同じ。
私が上達すればするほど
絶頂までの、野蛮な行為へ
費やす時間を短縮できるもの。

あとは、この不潔でイヤラシイ
何とも言えないニオイさえ
どうにかすれば…。

本来なら触れる事はおろか
口を利くこと事すら無い人種。
同じ空気を吸う事さえ。
絶対に混ざり合わない者同士。
そんな事を感じさせる味。

「うっぷ」

今はピルの副作用に
少し不快感があるだけ。
大丈夫、大丈夫…。



-半年後-

避妊するのが不快過ぎただけなのに、
中断した瞬間に妊娠するだなんて…。

(性交からのホルモンの影響で
♂を知った♀の体は丸みを帯びてくるもの、
生理が来ないのは薬の影響だ)と
勝手に思い込んだまま気づくのが遅すぎた。

もし、この状況で生物として何かメリットを
挙げろと言われたのなら、
相手は性欲任せな、動物で言う
交尾の適齢期な♂だったという事。
一方の私は私で、いつ孕んでもおかしくない
そんな体になっていたと考えれば、
生まれてくるのは腹立たしいほど
健康な子であろうという事が容易に想定できる。
…もっとも、
誰が父親かは判らないけれど。

私にふさわしい夫と出来の良い子…
世間が羨む優雅で幸せな暮らし…
夢が終わる?
大丈夫。バレなければ合法。
世の中なんてそんなものでしょ。

仮に特待生である生徒の代表が
社会の最底辺恥部の不良のペニスを
毎日毎日、自分から求めて、漁って、
身ごもっただなんて知られたら…。

フフフ…、
些細なことで傷つかない
人種になればいいのよ。
喰う側、動かす側の選ばれた人間。
私はそのために生まれてきたんだから。
ほら、制服で隠せなくなる前に。

「あっんん
もっと突いてっ
潰れるほど強くっ
今なら間に合うかもしれない
生まれるには早すぎるって！
この女は母親失格だって
その太いので教え込んでっ!!
子宮内で直接教育してあげてっ」

産んじゃった。
もうお終い。
人脈、学歴、若さ、
踏み外したらもうダメなの。
…知ってる。
「アハハハハ。。
。。。。。。。。
。。。。。。。」
だって、今の私って
自分が一番軽蔑してた
目立てば勝ち、
誰に迷惑をかけても良い、
そうやって人生を捨ててまで
楽しみを前倒しする野蛮な
人達と同じなんだもの。
あとは負のスパイラルが待つだけ。
死ぬまで、ずっと。

もう
考える事に疲れた
「なっつかしぃ～
っていうか辞めたガッコの
服着て産むとか斬新すぎね？
とか言ってる間に
アッハハ　見て見て
フェラしてたら出ちゃった
マジウケるんだけどぉ～
バッカ！
せーしじゃなくてガキの方
ほんっとガバマンだよねぇ
んと　これ何人目だっけ？
…あれ？息してない？
まあどうせ捨てるからね
ゴミ箱にでも入れといて
ダイジョブダイジョブ
あたしのパパ偉いから」

「それよりさ
ムラムラ収まらんしぃ
このままチンポで中
掃除してよ♡
あぁ？
テメーの包茎チンポのが
汚ねーだろが！
産む機械言うなし
玉潰されてぇの？（笑）」